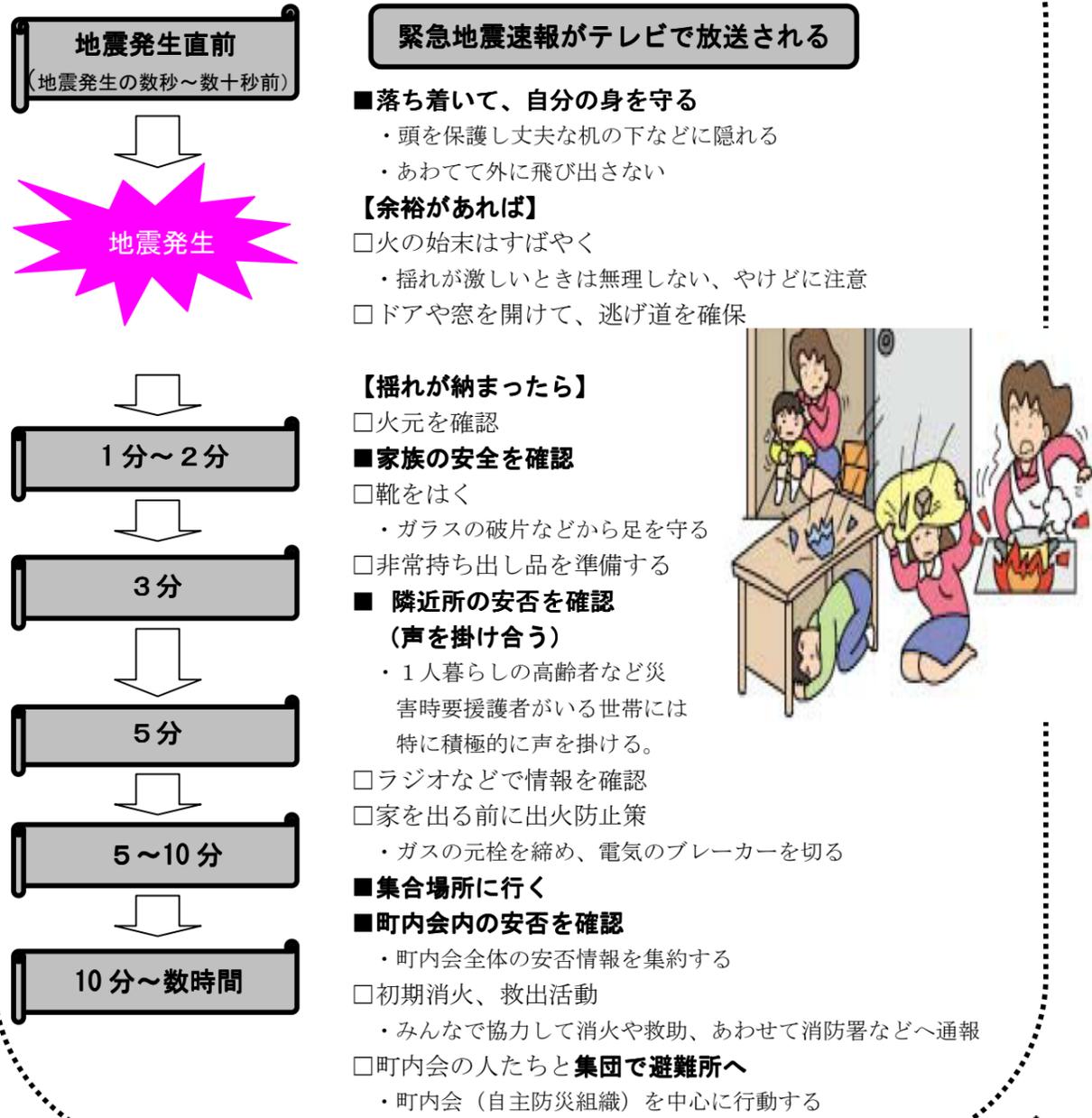


地震発生 そのときどうする

あわてず 落ち着いて



わが家(タウン24町内会)の避難場所

集合場所は

ありんこ児童公園(いつも夏祭りを開催している広場)です
(ここで地域の安否確認を行います)

避難所は

地震・洪水時とも**つつじが丘小学校**です
(みなさんと一緒に避難します)

日ごろの備え

家の中の安全対策

- ◇家具のない安全な場所を確保する
～地震発生時に逃げ込めるように～
- ◇出入り口や通路にはものを置かない
～安全に避難するために～
- ◇災害時要援護者のいる部屋には倒れそうな家具を置かない
～災害時要援護者を守るため～
- ◇非常持出品は取り出しやすい場所に
～避難するときすぐ持ち出せるように～
- ◇家具の転倒・落下の防止策をとる
～家具によるけがをしないために～

家具の転倒・落下防止策

- ◇収納を工夫する
～重いものは下に、軽いものは上に～
- ◇置き方を工夫する
～就寝場所に倒れてこないように配置～
～家具の下部前方に板を入れ壁にもたれ気味におく～
- ◇耐震金具を利用する
～壁・柱と家具を固定する転倒防止金具～
～上下の家具を固定する重ね留め用金具～
～扉・引き出しの開放防止金具～

非常持ち出し品を準備しておこう

非常持出品

- ◆懐中電灯(1人にひとつ用意、電池も)
- ◆携帯ラジオ(AMとFMの両方聞けるもの)
- ◆非常食・水(火を通さず食べられるもの)
- ◆貴重品(現金、通帳、印鑑、保険証)
- ◆救急医薬品(キズ薬、絆創膏、常備薬)
- ◆その他(タオル、軍手、缶きり、ナイフ)

非常備蓄品

- ◆食品(缶詰、レトルト食品、)
- ◆卓上コンロ、ガスボンベ
- ◆毛布、寝袋、洗面用具、ラップ
- ◆使い捨てカイロ

火災発生時に最初に持ち出すもの

災害から数日間を支えるもの

備蓄のコツ

- ◆食糧・水の備蓄は、毎日の生活の中でクセをつけること
- ◆食糧は、日持ちのする物で、食べたらずちに補充をするクセ
- ◆水は、汲み置いたものを使用し、使ったらすぐに補充するクセ



飲料水の確保

第二中学校及び緑園中学校グランドには、災害時の飲料水を確保するため緊急貯水槽を設置しています。
これは、容量100トンで約1万1千人の3日分となります。
管工事協同組合がポンプの設置などをします。

災害用備蓄倉庫

つつじが丘小学校には、災害用備蓄品の倉庫を設置しています。
消火器、ハンマー、担架、リアカー、毛布、トイレ、アルファ米などを備蓄しています。

カギの保管場所

- ・町内会長が保管しています。
- ・つつじが丘小学校(37-8222)
- ・市役所総務課(65-4103)